

(2)

0245

RA'-0007

0142

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

大日本帝國政府

總務一係  
終戰秘書係

發第二〇七號

昭和二十年十二月五日

內務省國土局長

終戰連絡中央事務局總裁殿

厚木飛行場空軍ニ對スル工作隊  
主席技師推薦ノ件

九月二十二日付第一ノ一普通第一三九號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御申  
越ノ次第モ有之事急ヲ要スルモノト被認候ニ付内務技師坂田中外一  
名ヲ現職ノ儘派遣致候處既ニ二ヶ月餘ヲ經過シ諸般ノ準備モ一段落  
ト相成リタルモノト被存候ニ就而此ノ際之ヲ復歸セシムルコトニ致  
度可然御了承相成度候

記帳券  
20.12.6

0246

總務部

管連絡官

本件總一  
日向〓  
内務省  
依〓  
〓  
〓  
〓  
〓

A1100.2-1

厚連普第五六号

帝國厚木連絡委員會  
委員長 井上

總裁 兒玉謙次殿

昭和二十年十一月廿五日附以、當厚木基地司令官ハ、メズ大佐ヨリ本宅ニ  
對シ別添第一至及第二至ニ通シ、  
一、當基地上工作隊所屬主任技師坂田中外及所屬書記ハ片桐書信記、  
二、工作隊ニ對スル内務省援助強化方々要請シ來リタルニ付、本可然  
内務省へ御移牒相成度  
當工作隊長「モートン」少佐ハ、當基地擴張計畫實現、為「工作隊」  
ヲ強クセントシ居ル際ニモ、坂田技師、坂田書記、對シテハ、片桐書記、  
ナリ居ル模範ニテ令度相當強硬ニ引留要望、旨由テ、取リ付ルモノト

0247

RA'-0007

0143



恩料セシ又當基地工作隊ニ必要ナル機具類ノ貸與方ニ付テハ  
 坂田技師ヨリ從來モ内務省當局ニ對シテ要請シ來レルモ遺憾下  
 充分先方ヲ満足セシメ得シヤリシハ事實ニシテ現下資材不足ノ極  
 ニナリ得ザルモトハ推量セルニモ日本側ニテ未嘗得ル限リ先方ヲ  
 納得セシムル様適當措置スルコト可然ト存スル次第ナリ。

0248

外務省

(別添筆(五))

厚木航空基地司令官 パリス大佐

一九四五年十一月廿五日

帝國厚木連隊委員長 會宛

工作隊要員留任ヲ要請スル件

一 今般當基地工作隊主任技師坂田中六及主任書記ニ對シテ内務本省ニ  
 復歸スベキ旨、訓令下リ多趣トシテ此等人員當工作隊機構ヲ  
 完成シ且當基地ニ就働中各種作業者監督ヲ行フ爲メ今後  
 少クとも六月間當基地ニ留任セシメラレ  
 二 前項復歸命令ニシテ發棄スル様適當措置セラルト共ニ  
 右發棄スル當否其旨ハ通報アリテシ。

0249

外務省

RA'-0007

0144

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan











HEADQUARTERS  
 ATSUGI ARMY AIR BASE  
 ATSUCE, HONSHU, JAPAN  
 APO 328 JWP/M

25 Dec 1945  
 Subject: Retention of specialized Japanese Civilian Personnel.

To : The Japanese Liaison Commission  
 Atsugi Air Base  
 Atsugi, Honshu, Japan

1. This Headquarters has been advised that orders have been issued recalling Mr. A. Sakata, presently Chief the Japanese Home Ministry. This order also includes the civilian chief clerk. This personnel will be retained by the base for a minimum period of six months in order to complete organization of the Base Utilities and to assist in supervision of several civilian contractors now working on the base.

2. It is requested that proper action be taken to rescind the orders referred to above and that this Headquarters be advised of its cancellation.

JOHN W. PERSONS  
 Colonel, Air Corps  
 Commanding

16804

0257

一九四五年十二月廿五日	帝國厚木運輸隊司令部宛	厚木航空基地司令官 パースンス大佐
工務隊要員留任を要請す件	一 今般當基地工務隊主任技師坂田中次及主任書記野村本省に復歸スルハ、司令了り多難ノ處此等人員當工務隊機構ヲ完セシ且當基地ニテ就島中、各種作業者、監督ヲ行フ為今後少トモ六ヶ月間當基地ニ留任セシムルベシ	二 前項復歸命令ニシテ發令スル様當當措置セラルトサハニ右廢棄シハ當否ニ其レハ日ニ報テリタシ

外務省

0256

(別添第一号)



海軍部第五六号

帝國海軍部本員會

連 2.1.10 秘書課

秘書課長

昭和二十年一月十日

木下重良 井上

陸軍部 兒玉謙次殿



客年十一月二十五日附より海軍部本基地司令官パース大佐ヨリ奉定ニ  
 對シ別添第一号及第二号ニ編  
 一 當基地工作隊所屬主任技師反田中次及所屬書記ノ片桐書信記  
 二 工作隊ニ對スル内務省援助強化方々要請シ來リタルニ付右可然  
 内務省ハ御移牒相成度  
 當工作隊長「モートン」少佐ニ當基地接濟計畫實現ニ為シ工作隊  
 ノ強化ニ付シ居ル際ニモ「反田」技師「片桐」書記ニ對シテ「可然」  
 ナリ居ル模様ニテ冷度相當強硬ニ引當要請ニ對シテ「可然」ニ付  
 外務省

0258

四科セシ又當基地工作隊ニ必要ナル機具類ハ資材方ニ付テハ  
 反田技師ヨリ從來モ内務省當局ニ對シ要請シ來レルモ遺憾下  
 充分先方ヲ満足セシ得ラザリシハ事實ニシテ現下資材不足ハ極  
 ニシテ得ザルモ「反田」機具類ニモ自奉例ニテ是來得ル限り先方ヲ  
 細得セシル様適當措置置スルコト可然ト存ズル次第ナリ

0259

外務省

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0007

0149



厚運普第廿九號  
 昭和三年七月十日  
 終戦連絡中央事務局  
 吉田 總裁 殿  
 終戦連絡中央事務局 所長 今井重夫  
 基地工作隊主任技師の内務省復歸の件  
 本年一月四日附拙信厚運普第廿七號に關し高厚木  
 航空基地工作隊主任技師坂田内務技官及主任書記  
 佐桐内務事務官引留方に關しては内務省側の協力  
 事項としては客年十二月五日附基地司令官の要  
 請に基き期間を六月と決定した次第であるが、  
 終戦連絡厚木委員會

別添々付  
 0261

(分類 A'1.0.0.2-1.)

(票 合 照)

受信者

昭和 年 四月 一二日

第 號

發信者

記録件名

0260

原書ハ A'1.0.0.2-13

地方軍政部に對する要員派遣に  
 関する件

ニ在リ

RA'-0007

0150

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

OFFICE OF THE POST ENGINEERS  
ATSUGI ARMY AIR BASE  
ATSUGI, HONSHU, JAPAN

JBE/jht

8 July 1946

SUBJECT : Retention of Specialized Japanese Civilian Personnel.

TO : The Japanese Liaison Commission Atsugi, Army Air Base.  
Atsugi, Honshu, Japan.

1. This office is willing to release Mr. Ataru Sakata so that he may return to his former duties with the Home Ministry.

2. Mr. Haruzo Katagiri, Japanese Chief Clerk at Post Engineers, cannot be released at this time. His service are invaluable to this office and we feel he should be kept at this Air Base for at least three months longer.

J. BENJ. HAYES JR.  
Major Air Corps  
Post Engineer.

0268

六月二十五日迄で期間満了となり、両官より離任を  
強く要望申出があつたと共に是地工作隊の活動も應  
軌道に乗つたものと認めらるゝので別添甲號の通り  
司令官に對し離任承認を求めた處坂田主任技師  
の内務省復歸に對しては承認するも佐桐主任書記  
に對しては同時離任を認めず今後引續き最少  
三ヶ月間の留任を要望する旨別添乙號の通り  
回答があつたから右内務省へ御移牒願ひ度  
尚後任に付しては同下工作隊長へイブス少佐と協議中  
もあるが工作隊長として是人選に付しては研究甲なる  
由に付しては此の奥に付しては後日先方の意圖  
を参考の上何方の御意を願ふこと、致し度  
と

終戦連絡厚生委員会

0262

RA'-0007

0151

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



發信用執務用											
主信	/	X	/								
附	甲										
	乙										
屬	丙										
	丁										
備考	A 100.2-1										
公務案	事務官及主任書記片桐事務官、外務省	厚木航空基地工作隊主任技師、坂田内	基地工作隊主任技師、外務省復帰、件	先付送寫	受信人	管主	文書課發送日	文書課長	淨書	正校(原稿)	昭和中
				名件	名件錄記	名人信發	昭和中	昭和中	昭和中	昭和中	昭和中
					外務省 關東土木出張所長 青木由公 所長事務官片桐事務官	秘書課長	昭和廿五年七月廿六日	文書課長			昭和廿五年七月廿五日附
											昭和廿五年七月廿三日起草

(日本標準規格 B5)

0265

217.24  
秘書課

ATSUGI LIAISON OFFICE

No.58

3 July 1946

Subject: Retirement of Chief Engineer of Post Engineer.

To : Colonel Wheeler, Commanding Officer, Atsugi Army Air Base.

Mr. Ataru Sakata, and Mr. Haruzo Katagiri, Engineers of the Home Ministry who have been working at the Post Engineer, conforming to the attached requirements of Colonel John W. Persons, from 25th Dec. 1945 to the extent of six months.

Now, as the above mentioned understanding has been already terminated, and the organization of P. E. seems practically straight, it is desired to release them from the posts, and let them back to the Home Ministry.

I would like to recommend if it is required to get their substitutes from the Home Ministry or civilian engineers in connection of the same office.

Shigeo Imai  
Chief of the  
Atsugi liaison Office.

0264 0267

RA'-0007

0152

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

協議中であるが、工作隊長として、人選については  
研究中なる由に付、この点については、後日先方  
の意向を参酌の上、何分の御考慮を願ふ  
ことと致し度い

0267

公 信 案

外 務 省

復帰方に関し、<sup>同</sup>費地司令官に対し、離任承認を  
求めた。坂田技官に付ては承認するも、片桐  
事務官に対しては、<sup>同</sup>曲時離任を認めず、今後  
引續き最少限度三月間留任を要望する。  
旨。回答の趣、當局厚木支張所<sup>(後記)</sup>申越<sup>し</sup>、  
御承願のたい

尚後任に付ては、自下工作隊長へ、イズ少佐と

0266

RA'-0007

0153

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



地方

濱連本第七三五號

昭和二十三年十二月九日

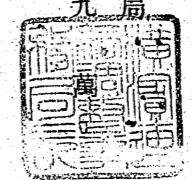
横濱連絡調整事務局  
局長 鈴木

連絡調整中央事務局

長官 朝海 浩一郎 殿

財務關係邦人顧問の八軍軍政部派遣方の件

八軍軍政本部財務民間財産課 (Finance and Civil Property Division, Military Government Section, Headquarters Eighth Army) に於て我財政税制問題の諮問に應ずる爲邦人専門家にして英語に堪能なる者の派遣方についてばかりは本官から口頭をもつて八軍側の希望を傳達しておいたところ、十二月七日軍政司令官ビーズレー准将との定例会談の際同准将は本官に對し現横濱稅務署長近藤事務官を適任と認め同官の派遣方



23.12.9

0268

横濱連絡調整事務局

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0269

「ロイン、ベリッシュ」にて大藏事務官の備、恰も中央連調より鈴木事務官が第八軍調達部に派遣されて居ると同様下を希望する趣で右の次第正式に大藏省に連絡方輪旋ありたい旨を語つた。就ては右大藏當局に御申入れの上至急近藤事務官の軍政部出向方御配慮ありたく尙回答の都合もあり何分の儀至急御回示願い度い。尙軍政官と近藤事務官の間には實際上既に話が進められているが、ビーズレー司令官の趣旨は正式の話はあく迄連調を通じて運ぶ建前と見られるに付御含みの上可然御取計いを請ふ。

横濱連絡調整事務局

RA'-0007

0154

發信用執務用			
主信	1	1	2
附甲	1	1	2
乙			
丙			
丁			
備考			

3

總務課長

文書課發送日	昭和廿三年十二月十五日
管主	第一
主任	地方課長
昭和	昭和廿三年十二月十五日
附屬	有
正校(原稿)	
(淨書)	

0271

13 10

先付送寫	名 件	名人信受	名人信發
	財務関係邦人顧問の八軍軍政部派遣方の件	大藏次官	次長

別紙添付

別紙字の通り申越したから委細右につき

本件に關し今般横浜連絡調整事務局次長より

一 地 第一七七号

昭和二十三年十二月十三日

連絡調整中央事務局次長

大 藏 次 官 殿

財務関係邦人顧問の八軍軍政部派遣方の件

本件に關し今般横浜連絡調整事務局次長より別紙字の通り申越したから委細右につき御了承の上しかるべくお取り計らい相願いたく、なお結果何分の儀至急御回答相成りたい。

別紙添付

0270

RA'-0007

0155

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



發信用執務用		3 / 4	
主信	甲		
附	乙		
屬	丙		
	丁		
備考	人		

12

次長

文書課發送日	昭和二十四年二月十日	淨書	正校(原稿)
管主	第一部長	任主	第一部長
一地	第一〇四號	昭和	二十四年二月十日起草
先付送寫	横濱・東海地産事務局	名件録記	
名人信受	京都事務局長	名人信發	
名件	第一軍團軍政部の顧問採用斡旋方依頼の件		
備考	一月二十六日附貴信京連調第三九号に關し		
公信案	脚本示の事情は尤もではあるが、實際問題として		

0273

公信案	
外務省	

(別紙 昭和二十三、九附横濱本才七三五号)

宗像成の上様任のこと

御了承の上、然るべく御取計相願ひたく、尚結果何分の儀至急御回示相成りたい。

0272

RA'-0007

0156

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

者を週に一定時間勤務させよ等の他なせるべしと考  
えられる

本件は今後の行政整理、軍政の推移等を見し  
根本的に何等の解決を要すべき問題である方とし  
ても、研究を重ぬる所存<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>ずが取敢ず  
卑見右の通り通報す。

0275

公 信 案

外 務 省

現狀に於て準調職員中本件職責を果し得る者を  
提供すよ余裕なく地方各省關係に於ても目下行政  
政整理等を控へてゐるこの際、ロビンズで専任に  
従事する職員と云ふことは殆ど見込なきものと言ふべ  
く之が当面の対策としては極めて困難であるが、<sup>甲</sup>内地  
に於て可能の範囲で適任者を物色する外、<sup>乙</sup>現地に  
於ける日本國の關係行政機関と連絡の上適任

0274

RA'-0007

0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



RA'-0007

0158

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター  
Japan Center for Asian Historical Records  
National Archives of Japan

京連調第三九號

昭和二十四年一月二十六日

京都連絡調整事務局

局長 武内 龍

次



24.1.31

0276 564

朝海長官殿

第一軍團軍政部の顧問採用斡旋方依頼の件

一月二十一日第一軍團軍政部長バインズ大佐は本官に對し同軍政部の各課に一名宛、計約八名の顧問(アドバイザー)を採用したい旨を述べた。

本件については中央宛公信客年十月七日附東海調整極秘第一三八號及び同年十月十二日附京連調第一八八號の経緯もあり、人選については慎重を要するが、他方近畿地方軍政部の分離に伴い、現在軍團軍政部における専門的な有力課長(法政課長スコット氏、學生課長アーティイグ氏、教育課長アンダーソン氏等)が大阪に

要再回地方課

京都連絡調整事務局

0277

移り、後任は専ら正規將校が擔當する模様であつて、専門家が少くなる点にも、人手も少くも當分は不足を來すものと見受けられ、この點で軍政陣容補強の一方法として、右軍團側の希望が再び出されたものと思われる。

右に對し當方としては、各方面の既製専門家で質のよいものをアドバイザーとして集めることの困難なことを説明したところ、先方も充分これを諒承したので、目下差當り最近の大學卒業生について適當候補者を物色中ではあるが、先方の満足するような者を見出すことは困難と思われる。

他方軍團軍政部は所管地域が西日本全域であり、相當な活動振りを示している事情にも鑑み、この際軍政部の主要な課(例えば法政、經濟、教育、厚生)にロインベイス等適當の方法によつて連調職員又は中央關係官廳職員を入れることが一案ではないかと考えられる。この點については、當方としても更に先方とも折衝し、研究させてみた上で、更に意見を具申する所存であるが、中央から見ただお考えを非公式でもよいから折返し御回示を願いた

本信寫送付先 横濱、東海北陸連調

の長を至歴軍政部に於て位是行過等  
 調査のに同系ありたる

及び特例の反響

0279

發信用執務用		主信 2 / 3		幸便		總務課長		機密	
附	甲			④					
	乙								
	丙								
	丁								
備考		A/0.0.2-1							
文書課發送日		昭和廿三年三月八日		淨書		正校(原稿)		(淨書)	
第一部長		主任 地方課長		昭和三十二年二月六日附		昭和三十二年二月六日附		川	
一地 第二一號		東海北陸事務局長		長官		昭和三十二年二月六日附		川	
先付送寫		横濱事務局		名件録記		昭和三十二年二月六日附		川	
名件		軍政部に日本人能内採用の件		昭和三十二年二月六日附		昭和三十二年二月六日附		川	
名信受		連機密本ヤ六七〇号の本件に關し、福井に於て		昭和三十二年二月六日附		昭和三十二年二月六日附		川	
公債案		優秀なる能内を得た例を参考として、右本人		昭和三十二年二月六日附		昭和三十二年二月六日附		川	
外務省				昭和三十二年二月六日附		昭和三十二年二月六日附		川	

0278

RA'-0007

0159

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan







A'0002-1

鳥取軍政部隊顧問の件  
 鳥取軍政部隊顧問二名の採用至過報告別流の通茲  
 に提出する。  
 右顧問に關し本官軍政隊長に會見の折言及し  
 左處隊長は軍政部で役に立つ程の人は日本側で  
 尤就傷容易である加ふるに軍政部は今後存続  
 するか判らぬ故之等の人は將來性のある日本側が傷きたい

鳥取駐在官事務所  
 昭和三十三年十二月十三日  
 鳥取駐在官



23.12.20  
 文

鳥取駐在官事務所

0283

職種	氏名	採用年月日	略歴	俸給月額	採用時の状況	現在ノ編當職場
技能者	村上賢三	昭和二十二年九月一日	大正十年五月金澤醫學專 問學科卒業 昭和十一年九月一日 昭華國民衛生者東北血清實 昭和大卒業 昭和十年三月十八日金澤 昭和大卒業 昭和十三年八月二十九日 福井縣立衛生技師勤務	本俸八、一六四圓 加給二、〇〇〇圓 計一〇、一六四圓 本俸七、一九三圓 加給一、〇〇〇圓 計八、一九三圓 本俸五、〇〇〇圓 加給一、〇〇〇圓 計六、〇〇〇圓	職業安定所を経て採用 縣外課に於て採用	衛生課 技能者
	圓山梅雄	昭和二十二年三月一日		右 同 右 同	右 同	右 同

0282

RA'-0007

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0151



鳥取駐在官事務所

0284

であらう、現在員二名の法律顧問は有能である。今後  
 教育方面<sup>その他</sup>でも採用したいとの意思を述べた。  
 次で当方から通訳等々その地位を悪用するものの例があり  
 我々としては顧問は非しん此の如きこと加ない様心配し  
 てゐる旨述べた處隊長は自分らの着任以前鳥取でも通  
 訳で三年の懲役にと送せられたものあり又現在米子基地  
 (壕軍中E)でも関係業者と絡んで問題を起し、誠  
 首すべしか否か軍備で向壁してゐるものあり顧問は非しん  
 充分警戒すると答へた。  
 高先方の要求する且取高給に付ては現在顧問の経丁に  
 照し困難と思はれるので軍政部が務係官に種々事情  
 を説明の結果特調中央で承認しないならは致し方なし  
 と先方は諦めた

1号 出天

RA'-0007

0162

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

鳥取軍政部隊附顧問の採用経過等報告

鳥取縣

昭和二十三年十二月十一日調

従来當地軍政部隊附顧問として任用せられておたものは總員六名であつたが、これ等は就れも當市内における諸学校の教授、教官、國立病院の医長及び開業弁護士等と委嘱した所謂兼務顧問であつた。然るところ本年十一月に至り右顧問全員に對し一斉に軍の解雇指図書が発せられ、今時に左記兩名の常勤専任顧問に関する労務要求書が発せられたものであつて、これが採用経過等は概次の通りである。尤も右兼任顧問の一斉解職並びに新任顧問の人選等専ら軍政部側の指示に基いたものであるが、その間の詳細なる事情については當方において判然とすることが出来ないので爲念申添へる。

記

一 田中實

鳥取縣

(A) 職種 法律技術顧問

(B) 勤務箇所 鳥取軍政部隊司法行政課(常勤)

(C) 採用年月日 昭和二十三年十一月十五日

(D) 学歴職等 別添履歴書の通り

(E) 採用経過

本法律顧問の補充に當り軍政部としては当初その候補者として、當市開業弁護士山崎季次氏を選定、軍労務係官より就任交渉を進めた模様であるが、今氏はその職業上の關係及び給與等の面より之を辞退し、代りに今氏の知人たる田中氏を推薦したものである。ひいて十一月十五日、田中氏に對する労務要求書が発せられ、今時に別紙の如き推薦状を受けたりであるが、推薦状による給與額が特別調達方針決定に係る給與基準表中、顧問の枠の最高を要求せられてゐるので、昭和二十三年八月十八日附特別調達発第一〇三三号特別調總裁名通牒を記第一号

村上

0285



の規定に基き目下その給額決定に付て特調宛稟向中である。高十一月分の給與に付ては軍側指示の次第もあるが暫定措置として本俸最高額八、六〇〇円を適用し日割計算をもつて支給した次第である。

ニ有田 國雄

(A) 職 種 厚生技術顧問

(B) 勤務箇所 鳥取軍政部隊厚生課(常勤)

(C) 採用年月日 昭和二十三年十一月十五日

(D) 学歴職階等 別添履歴書の通り

(E) 採用経過

本人は元鳥取縣厚生課勤務の三級事務吏員であるが本年三月以降軍政部よりの要求により厚生補助員として軍政部厚生課に常駐専ら軍の厚生事務執行に伴ふ補助的業務に軍及び縣の間における事務連絡等に當つてゐたのであるが、その成績良好なり軍

鳥 取 縣

方面より頗る歡迎せられてゐた模様である。然るところ本年十一月に至り前記の通り兼任顧問が一斉に解職せられたのでこれを機会にして本人を専任顧問に切り換へ連合國軍常備使用人として採用せられることとなり今月十五日附をもつて労務要求書の發出を見、今時に別紙の如き推薦状を受けたものである。

尚俸給額の上兵に關しては前項田中顧問と今様の理由により目下特別調達片宛稟向中であるが十一月分給與に付ては軍側の指示もあり取り敢へず本俸俸の最高額たる八、六〇〇円を基準とし日割計算をもつて支給せられた次第である。

村上 納

0286

本籍	鳥取縣気高郡高野町	氏名	田中 実
現住所	右同	生年	明治四十二年六月二十二日
年號	日	職	
大一五三	學 歴	任 免	賞 罰
昭 四 三	兵庫縣立第三神戶中學校卒業	事 故	
" 八 三	官立第三高等學校文科卒業	官 銜	
" 六 一	京都帝國大學法學部學士試験合格		
" 六 一	大阪市日本生命保險株式會社入社		
" 三 六	渡瀨マノウ社退職		
" 三 四	滿洲拓植公社理事 經濟部訓練課勤務		
" 三 一	機構改革ニヨリ訓練部員課勤務		
" 一 一 六	盛岡支訓練所臨時建設部長		

0287

RA'-0007

0165

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



RA'-0007

0166

本籍	鳥取縣氣高郡神戶村	氏名	有田雄
現住所	鳥取縣鳥取市	生年	大正六年十一月二十五日
年號	月 日	職歴	免 官 衛
昭七	三二四	鳥取縣氣高郡神戶村高等小學校高等科卒業	
昭八	四一	神戶村役場書記見習ウ命ス	神戶村
昭九	七三〇	書記見習ウ免ス	
昭一〇	四一	大阪府西大醫學第三商業學校入學	
昭一一	三二八	右校卒業	
昭一二	三二〇	大阪市旭重工業株式會社事務員	
昭一三	三二〇	月俸四十五圓給与	
昭一四	九一〇	月俸五十圓給与	

0288

昭一五	四一	前練務課主任	
昭一六	一〇	副參事	
昭一七	一一	嫩江出張所長	
昭一八	七一	嫩江縣警務隊南拓回聯合會理事長兼位	
昭一九	三一	黑河地方事務所總務課長	
昭二〇	二二	齊々哈爾地方事務所總務課長	
昭二一	九	滿五年職務二精勵功績故ヲ以テ表彰シテ(滿洲拓植公社總裁)	
昭二二	八	黑河地方事務所連絡主任(北滿地區地方事務所監督)主任兼務	
昭二三	一一	齊々哈爾日本人會理事(兼)農民部長	
昭二四	九二四	博多上陸外地引揚定了一兩後家車下從事ス	

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan











C O P Y

TOTTORI MILITARY GOVERNMENT TEAM

19 November 1948.

Subject; WAGES OF SECTION ADVISOR.

To: Labor Section,  
Tottori Prefectural Government.

1. Mr. TANAKA Minoru has recently been appointed Technical Advisor to the Legal and Government Section of this Headquarters.
2. It is requested that Mr. TANAKA be paid the maximum amount of 8,600 Yen base pay per month as from the date of commencement of duties.
3. Mr. TANAKA's qualifications include studies as the Department of Literature, Third Government High School, TOKYO, and legal studies in The Department of Jurisprudence, KYOTO Imperial University, and it is considered that he is fitted for the duties assigned him in the L & G Section of this Headquarters.

Signature J. W. WORLING  
Labor Officer.

0291

C O P Y

TOTTORI MILITARY GOVERNMENT TEAM

APD 317

29 November 1948

Subject; WAGES OF SECTION ADVISOR.

To: Labor Section,  
Tottori Prefectural Government.

1. Mr. ARITA Kunio has recently been appointed Technical Advisor to the Public Welfare Section of this Headquarters.
2. It is requested that Mr. ARITA be paid the maximum amount of 8,600 Yen as base pay per month as from the date of commencement of duties.
3. Mr. Arita's qualifications and duties with the Welfare Section of this Prefecture are considered sufficient for the duties he will undertake in his assignment with Tottori Military Government Team.

Signature J. W. WORLING  
Labor Officer.

0292

RA'-0007

0170

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

從來 占領軍要員と日本國民との間の友好関係を  
 増進に資する爲 從來占領軍要員に課せられた  
 制限を大巾に緩和すると発表したが右に伴ひ發  
 せられた九月十三日附回章第二十三号を參照送  
 送付する

0294

發信用執務用		主信 12 13		附 23 24		丙 丁		備考 A10.0.2-1	
		(各連調=部長)		但板橋		一部		調査課長	
文書課發送日		昭和廿四年拾月五日		淨書		正校(原稿)		(淨書)	
管主		連地台 第七五一號		昭和廿四年九月四日附		附屬		昭 和 24 年 9 月 28 日 起草	
名人信受		各地方連調局長		名人信發		大臣		別紙	
先付送寫		板橋		名件録記				0293	
名 件		占領軍要員に対する制限緩和の件							
公 信 案		九月十三日總司令部涉外局長來表(附)中は總司令		部にあつては		九月十三日附回章第二十三号により			

RA'-0007

0171

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



GENERAL HEADQUARTERS  
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS  
APO 500

CIRCULAR )  
: )  
NO. ....33 )

13 September 1949

GENERAL PERSONNEL REGULATIONS

1. a. Rescission. Except as to offenses committed prior to the effective date hereof, Circular 24, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 8 July 1948, is rescinded.

b. References.

- (1) Circular 7, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 15 March 1948.
- (2) Circular 17, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 2 June 1948.
- (3) Circular 21, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 26 June 1948.
- (4) Circular 23, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 26 June 1948.
- (5) Circular 2, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 14 January 1949.
- (6) Circular 4, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 8 February 1949.
- (7) Circular 8, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 31 March 1949.
- (8) Circular 22, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 13 September 1949.

0295

- 2 -

2. Purpose. The purpose of this circular is to establish in general effect, the same relationship between the Occupation personnel and the indigenous population of Japan as exists between United States troops and the indigenous population of the United States. This circular is intended, furthermore, to minimize restrictions on the movement and activities of Occupation personnel to the maximum practicable extent, in order to promote an attitude of friendly interest and guidance toward the Japanese people which is reflective of democratic ideals and devoid of unnecessary military control.

3. Jurisdiction. The provisions of this circular will be publicized and enforced in all areas of Japan by the Commanding General, Eighth Army, except that the following commanders have the responsibility for enforcement in areas and installations under their immediate respective administrative jurisdictions:

- a. Commander, United States Naval Forces, Far East
- b. Commanding General, Far East Air Forces
- c. General Officer Commanding, British Commonwealth Occupation Force
- d. Commanding General, Headquarters and Service Group, General Headquarters, Far East Command.

4. Persons subject to Circular. a. The following defined persons are subject to the provisions of this circular:

- (1) Occupation Personnel. All persons, except Japanese nationals, in Japan on official business who are on duty with, attached to, or associated with governments or agencies thereof (other than the Japanese Government), which are accredited to or affiliated with the Supreme Commander for the Allied Powers, including the dependents of such persons.
- (2) Non-Occupation Personnel. All other persons of whatever nationality who have been authorized by the Supreme Commander for the Allied Powers to enter into Japan upon a temporary or semi-permanent basis, including but not restricted to commercial

0296

RA'-0007

0172

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records  
National Archives of Japan

entrants, missionaries, visitors and tourists, including dependents of such persons.

b. Persons subject to this circular are responsible for orienting members of their families concerning compliance with this circular and with amplifying rules and regulations published by the Supreme Commander for the Allied Powers; Commander-in-Chief, Far East; and appropriate subordinate commanders.

5. Criminal Jurisdiction. a. Japanese courts exercise no criminal jurisdiction of any sort over nationals of members of the United Nations. Such persons are subject to the criminal jurisdiction of occupation courts or the appropriate military courts of their respective nations, as such jurisdiction is defined by other pertinent regulations.

b. The authority of the Japanese to take into custody any national of a member of the United Nations is restricted to those areas of Japan where troops of the occupation forces are not present on duty and to those cases only where there is reasonable evidence that a serious offense has been committed, or when otherwise ordered by the Supreme Commander for the Allied Powers or his authorized subordinates. All persons subject to this circular are subject to arrest by military police.

6. Registration of Civilians. a. All occupation personnel who are civilians will be registered with appropriate area provost marshals, and all such personnel over twelve years of age will carry with them at all times when outside their immediate abodes the identification cards furnished by the registering authority.

b. All other civilians subject to this circular will be subject to the laws and regulations promulgated by the Japanese Government unless otherwise prescribed by the Supreme Commander for the Allied Powers or his authorized representative.

7. Fire Arms. a. Persons subject to this circular will not carry arms, have small arms ammunition in their possession, or carry knives with blades longer than three inches, except when on official duties requiring them to be

0297

armed, when engaged in authorized hunting, or as provided in sub-paragraphs b and c below.

b. Occupation personnel who are authorized separate quarters may retain pistols and revolvers and necessary ammunition in their quarters for personal protection or protection of dependents and personal property or in such special cases as may be authorized by a commander of the grade of general officer. Weapons in the private possession of individuals will be registered with the appropriate area provost marshal, and are not authorized to be carried on the person.

c. Shotguns and other types of hunting weapons will be registered with appropriate area provost marshals or, if in outlying areas, with unit commanders. These weapons also may be retained in the quarters of occupation personnel.

d. All hunters are required to comply with the hunting regulations issued by the Commanding General, Eighth Army, or by his authorized subordinate commanders in their respective areas.

8. Travel. a. Travel by occupation personnel will be governed by the following:

- (1) Official travel: Official orders are required.
- (2) Non-official travel:
  - (a) When occupation force billets and/or transportation are desired, either competent travel orders or the Absence and Travel Authority form properly authenticated is required. (Incl 1)
  - (b) When occupation force facilities are not desired: The identification card only is required (Class "A" pass or similar identifying document for enlisted personnel).

b. Travel by non-occupation personnel will be governed by the following:

0298



- (1) When occupation force transportation is desired, competent travel orders are required.
- (2) When occupation force transportation is not desired, the identification card only is required.

9. Passes for Enlisted Personnel. Enlisted personnel who are authorized to be absent from their unit area in an off-duty status will carry duly authenticated passes as prescribed by their appropriate local commanders. All enlisted personnel, except those on duty, will be off the streets between 2400 hours and 0600 hours unless in possession of a special written authority.

10. Sports Participation. Occupation personnel may compete with, or against, or participate jointly with, Japanese nationals in all sports on an individual or organized basis. However, participation or competition on a group or team basis is authorized only when specifically approved in each case by local commanders and will not interfere with regularly scheduled sports programs, nor deprive occupation personnel of sports equipment or facilities. Local commanders will exercise such supervision as will preclude conduct detrimental to the objectives of the occupation.

11. Organized Social Activities. Occupation personnel, when authorized by local commander, may invite Japanese nationals to attend and participate in organized social activities, such as service club activities, provided that such participation will be in all instances as invited guests and upon an individual basis, will conform to club or installation regulations, and will not interfere with normal participation by other occupation personnel. Owing to restrictive clauses contained in Army and Air Force motion picture film rental contracts, Japanese nationals cannot be authorized admission to motion picture performances in United States Army or Air Force theaters.

12. On Limits Areas. In the interests of aiding in the economic rehabilitation of Japan and expanding recreational facilities, all Japanese hotels, inns and theaters are

0299

placed "on limits". Occupation personnel when utilizing such facilities which do not supply food and drink procured from authorized sources will provide their own food and drink from authorized sources. The local occupation force commander in the area is authorized to place "off limits" any hotel, inn or theater for cogent reasons only, by posting upon the exterior of the premises a sign: "Off Limits to Occupation Personnel, by order of." Members of foreign missions are authorized to utilize for recreational purposes without restriction Japanese hotels other than those operated by the occupation.

14. Off Limits Areas. A. The following areas and installations in Japan are "off limits" to occupation personnel, except in the conduct of their official business:

- (1) All eating and drinking establishments and public bath houses except those operated by occupation forces or approved by the local occupation force commander in the area, or by other agency duly authorized by the Supreme Commander for the Allied Powers for the purpose, and visibly designated by posting upon the exterior of the premises a sign: "Approved for Occupation Personnel, by order of."
- (2) Japanese hospitals, except for admission of emergency cases and bona fide visits to individual patients therein.
- (3) For the purpose of swimming or bathing, all beaches, pools and streams, unless specifically placed "on limits" by the local occupation force commander in the area, and all lakes, reservoirs, or ponds which are posted as water supply sources. All beaches not hazardous, un sanitary or subject to occupation force official use may be placed "on limits" by the local occupation force commander in the area.

0300

b. The following areas and installations are "off limits" to all persons subject to this circular, except in the conduct of their official business:

- (1) Jails, prisons, stockades, and temporary inclosures for confinement of prisoners.
- (2) Telephone exchanges, railroad yards, water, gas and electric utility installations, dump areas containing confiscated war materials and supplies, fish hatcheries, fish ponds, fisheries experimental stations, game preserves, and like installations.
- (3) Any building, house, business establishment or area which for cogent reasons only has been placed "off limits" by the local occupation force commander in the area by an appropriate public notice specifying its application to both occupation and non-occupation personnel.

15. Civilian Food Supplies. The procurement or consumption of indigenous food commodities by persons subject to this circular is prohibited except as otherwise authorized by appropriate regulations.

16. Illegal Commercial Activities. a. Persons subject to this circular except as otherwise authorized herein or elsewhere (e.g., pursuant to other circulars and directives issued by, or under import or export licenses granted by the Supreme Commander for the Allied Powers or authorized agencies thereof) are prohibited from:

- (1) Importing into Japan by any means (including international and military postal channels):
  - (a) Narcotic drugs and utensils used therefor, except by prescription of a physician and for personal use.
  - (b) Other drugs, except for personal use.

0301

(c) Tobacco products, edibles, clothing, or other goods or merchandise, except for personal use or as bona fide gifts.

(d) Other items prohibited entry by regulations of the Supreme Commander for the exit of property and cargo into and from Japan.

- (2) Selling, bartering, or otherwise trading articles, goods, or merchandise purchased from commissaries, Army or Air Force exchanges, ships' stores, and similar agencies to or with any person not himself authorized to purchase from the same agency.
- (3) Acquiring yen by the sale, or barter, or exchange of goods or gifts with indigenous personnel or with other Allied or United States personnel.
- (4) Giving to any person whomsoever any article of personal property, goods, or merchandise with knowledge or reasonable cause to believe that the same will become the subject of unauthorized sale or barter or commercial transaction.
- (5) Possession of quantities of any articles, goods, or merchandise in excess of demonstrable personal requirements.
- (6) Transportation into, out of, or within Japan of any article of personal property, goods, or merchandise for the purpose of any transaction in violation of this paragraph.

b. Occupation personnel are prohibited from engaging or participating in trade or other commercial activities in Japan on their own behalf, or on behalf of any private person or agency, unless expressly authorized by the Supreme Commander for the Allied Powers, provided, however, that employment of dependents of occupation personnel by non-Japanese

0302



persons or firms permitted to engage in business or investment activities by the Supreme Commander for the Allied Powers is authorized subject to the condition that such dependents may not, serving on their own behalf or as agents, make sales to or purchases from Japanese agencies or individuals, or themselves engage in investment activities.

17. Housing Facilities. a. Persons subject to this circular will not enter into real estate transactions, including rental agreements, except as otherwise authorized by applicable regulations of the Supreme Commander for the Allied Powers.

b. The allocation of housing to occupation personnel will be as directed by the Supreme Commander for the Allied Powers.

18. General Conduct. All disorders and neglects to the prejudice of good order and all acts inimical to the objectives of the occupation, including violations of the proclamations, ordinances, regulations, or orders promulgated by or under the authority of the Supreme Commander for the Allied Powers are prohibited.

AG 300.8 (24 Jun 48)GA

BY COMMAND OF GENERAL MacARTHUR:

EDWARD M. ALMOND,  
Major General, General Staff Corps,  
Chief of Staff.

OFFICIAL:

/s/ R. M. LEVY,  
R. M. LEVY,  
Colonel, AGD,  
Adjutant General.

1 Incl

Absence and Travel Authority

- 9 -

0303

ABSENCE AND TRAVEL AUTHORITY

(Name)	Grade or civilian rating (or if dependent, show name of principal and relationship)	(Organization)
--------	---	----------------

is authorized (to be absent from his (her) station in \_\_\_\_\_ and) to travel during the period

\_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_  
(Time and Date) (Time and date)  
for the purpose of visiting \_\_\_\_\_  
(Destination)

\_\_\_\_\_  
Commanding Officer or  
Section Chief

\_\_\_\_\_  
(Date)

- Note: 1. Commanding officer, section chief, or executive officer may authorize travel for dependents of members of their organizations. When executing this form for dependents, delete the phrase "to be absent from his (her) station in \_\_\_\_\_ and."  
2. When authorizing travel of dependents who are Department of the Army, Navy, or Air Force civilian employees, and travel of the principal, this form will be approved by the chief of the section employing the dependent, as well as by the section chief of the principal.

Inclosure 1

0304

RA'-0007

0176

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

する

記

一 特調當局としては現行規程の取扱については別に不合理的な事を認めない。即ち現在各府縣で行はれている諸種選手試験制度はもと一司令部側（E）の労働課コレクター的資源班長の承認方針に基いてあるものであり本制度を決定するにあたっては最初全国的に

0306

發信用執務用		シ
主信	1	2
附	甲	
	乙	
屬	丙	
	丁	
備考		

懇案

調整隊長

文書課長

文書課發送日 昭和廿四年二月七日

主 連 送 局 長

管 連 送 局 長

主 任 地 方 連 送 局 長

送 地 第 四 號

昭 和 卅 四 年 二 月 五 日 附 附 屬

淨書 (正校(原稿) 15 (淨書))

昭 和 卅 四 年 11 月 6 日 起 草

先付送寫

名 人 信 受

近 畿 連 送 局 長 兼 署 長 官 長

名 人 信 發

外 務 大 臣

名 件 錄 記

進駐庫立備者轉勤の場合における語学試験に関する件

客月二十日附近連本カ三五五号當信來照心の本件に関する特別調達行側の見解、取扱形等左記の通り回報

外 務 省

5 17 0305

RA'-0007

0177

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



公 信 案

外 務 省

←

二、しかし貴信(近連本第二五五号)申越の次第であり  
特調當局に於ては  
 今回の民事部機構改編に伴う府縣を異にする轉勤  
 の場合における語學加給支給率の取扱方については特  
 に臨時的措置を講じて便宜をはかりたい意向の趣

0308

公 信 案

外 務 省

續けた試験を行ふことも考へられたが結局経費の多に於て  
 実現が困難歟といふ事と共に考慮実施にあつて勤務に  
 支障を来す虞もあることより現在のやうな制度がどう  
 した次第である  
 従つて現在の試験は経費の面におつて府縣の負擔に  
 よつてゐるものが多く又統一的な試験が困難となつ  
 た爲、各府縣毎に試験を行ふことになつた

0307

RA'-0007

0178

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

公 信 案

外 務 省

である。この点に關して司令部例(此等)F中常勤課(此等)人帥資源班長(此等)の承認を取り付ける必要があるため、その方面との折衝に備え、資料を目下準備中の様  
 様である。

共、右に言及した特調例の臨時的措置の方針(腹案)について、同  
 片係官の内活によると、臨時語學加給支給規程の適用  
 を受けている連合軍陣圍係使用人が今回の民事部移構  
 改編に伴って村名を思召にする轉勤を命ぜられた場合に  
 おいて本人が乙縣(新任地)においても甲縣(旧任地)におけると同  
 の職種の専務に従事する場合に限り、臨時措置として、同  
 様カニ七号(昭和二十四年五月十七日附特調原乙案TOLLA)の  
 定めによらず乙縣において、そのまゝ甲縣における語學加  
 給率を適用することかであるよう、とりはからいた方針  
 であると述べている。

0310

公 信 案

外 務 省

である。この点に關して司令部例(此等)F中常勤課(此等)人帥資源班長(此等)の承認を取り付ける必要があるため、その方面との折衝に備え、資料を目下準備中の様  
 様である。

共、右に言及した特調例の臨時的措置の方針(腹案)について、同  
 片係官の内活によると、臨時語學加給支給規程の適用  
 を受けている連合軍陣圍係使用人が今回の民事部移構  
 改編に伴って村名を思召にする轉勤を命ぜられた場合に  
 おいて本人が乙縣(新任地)においても甲縣(旧任地)におけると同  
 の職種の専務に従事する場合に限り、臨時措置として、同  
 様カニ七号(昭和二十四年五月十七日附特調原乙案TOLLA)の  
 定めによらず乙縣において、そのまゝ甲縣における語學加  
 給率を適用することかであるよう、とりはからいた方針  
 であると述べている。

0309

RA'-0007

0179

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



三、労務確保の対策として制定された現行の連合五軍関係使  
 用人の臨時語学加給支給規程(昭和三十二年二月十八日附特調度  
 オ八七号特調総裁及各関係機関宛連調事務局局長を合む  
 通達係付)なるに轉勤者、退職者、解雇者に対する臨時  
 学加給支給についての通達(昭和三十四年五月十七日附特調度オ  
 オ二七号丁のんA)は何れも総司令官部経済科学局労働課  
 事務局の見解乃至指示に基いて制定されたものである。

公 信 案

外 務 省

0311

しかしこれによる臨時学加給支給率決定の整理上要素は  
 実地管区長事務官が指摘しているような、語学試験の  
 成績(本人の語学能力)のみならず、このほか重要な西女素小  
 として、本人の従事する職務の簡量関係に依存するもので  
 ある。即ち所望はその従事する職務の責任度及び困難性  
 を、且その職務において實際用いる語学の使用面積  
 を、是すれば頻度、時間等を意味するものである。

公 信 案

外 務 省

0312

RA'-0007



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

主任		8	1	9
附屬	甲			
	乙			
	丙			
	丁			
備考		A7.0.0.2-1		

④ 懸案

公 信 案	名 件	先付送寫	名 人 信 受	管 主	文 書 課 發 送 日
	地方民部職員増強の件		関東東北北海道 東海北陸 近中四四九 各府県長	連地合第 八二〇 号 昭昭和其五年七月七日 日附 附屬	昭和廿五年七月拾壹日
外 務 省	名 件 録 記	名 人 信 發	管 任	主 任	文 書 課 長
		外々大	地方局長		

記帳済

80 0314

公 信 案	
外 務 省	<p>従つて海陸の加給率は語学の能力と従事する取極力の 性質如何によつて決定されると説明しよう。</p>

0313

RA'-0007

0181

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



公 信 案  
 外 務 省  
 連誦の側面的援助を得度い  
 に格上にする様措置してゐる。二の上には付して特に各地方  
 級の待遇を改善する為高級通譯はアトハイパー  
 出張も自由に行はれ得ない所すらある。級に昇進し通譯  
 特に通譯と云ふの能職者多き為女子部米人職員の  
 出張も自由に行はれ得ない所すらある。級に昇進し通譯  
 級の待遇を改善する為高級通譯はアトハイパー  
 に格上にする様措置してゐる。二の上には付して特に各地方  
 連誦の側面的援助を得度い

0316

だが其後全少将が在任に付て更に詳細の説明があり  
 連誦側の協力を要請されたが右の通通知する  
 一 總司令部兵隊局では米人並に邦人職員共に不足し  
 邦人職員の缺員は現在三十余名に上つてゐるが兵隊局  
 とは差差あり地方兵隊部の補充に力を注ぐ事とする  
 二 地方兵隊部でも最近進駐軍関係の将来性念に付き  
 ハイヤー方面に轉移する者多く現任では邦人職員のみ  
 (特に東東北は少い)が近畿は在任も在任四冊は増強入  
 二の上には付して特に各地方

0315

發信用		執務用	
主信	8	1	9
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考	A10.0.2-1		

縣案 進

公文書	件名	先付送寫	受信人	主	文書課發送日	淨書	正校(原稿)	(淨書)
	地方民事部職員増強の件		近畿 東北 北海道 東海 北陸 各連絡調整事務局	主 連絡局長	昭和廿五年八月貳日	昭和廿五年七月廿壹日附	附屬	記帳済
外務省	備考							

本件は開き七月七日付連地合第八三〇号に開きその後特別調査廳側の見解

31 55 0318

公文書	外務省
三 各地方民部知事等一人職員の在官に在り不在の所ハ 多シク優秀な民部知事志望者ハあるは當該 各地方民部知事と連はの上幹部と致ハは幸甚 あり。	
0317	

RA'-0007

0183

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



公 信 案

外 務 省

を求めたところ同僚労務部長より在記  
 諸員から実現困難を旨内話加わつた  
 御手紙まで<sup>御手紙</sup>通報す

一、進駐軍職員の給与は全般的な職  
 種別賃銀によつて枠がきめられてあり  
 民事部職員のみを特に優遇すること  
 はできない

0319

公 信 案

外 務 省

二、職種基準は相対的厳格にして、その  
 アドバンテージとしての資格条件が備わらない  
 限り、通款をアドバンテージに格上げするとい  
 うことはできない

三、民事部職員の給与改善については日本  
 側としては<sup>積極的</sup>解決策はなし、軍側内部で  
 解決するに<sup>他</sup>はない

0320

RA'-0007

0184

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan







局筋から受けたが、連調において本件に關する何等かの情報を入手したか。又本件について道教育委員会當局は關係ないことは判明しているが上記の財源を扱う日本側官庁は何れになるや承知致したいとの質問を受けた。その際が課長代理は近く上京の機会があるので自分においても調査を行うが連調においても調査されたいとのことであつた。

當事務局において關係當局につき調査したところでは、道教育委員は全然關係なく當地方民事部より直接差當り旭川並びに函館兩地に顧問が夫々一名宛任命駐在せしめられることとなつて居り、既に候補者は内命を受けた趣きにて、又これに夫々雇員一名宛が配屬されることとなる趣きである。然しこの雇員の給與は民事部邦人要員のペイ、ロールにふくまれ顧問の場合とは別個に扱われる由である。従つて本件顧問の給與關係は從來行われてゐる各地のG.H.R.、O.I.R.圖書館の場合の方式と同様に

連絡調整事務局

0325

取扱われることになるべく、然る場合は、當地においては道庁渉外課が文部省を通じ天藏省に對して事務を主管することになるものと思料せられるが本件について中央における措置状況を早速御調査の上何分の御回答煩わしたい。

連絡調整事務局

0326

RA'-0007

0187

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



分類 A.1.0.2-3

電 信 案	暗 平略	電送第	〇〇〇	號	主 管 連 絡 局 長	任 地 方 課 長	和 二 五 年 九 月 七 日 起 草				
		昭和	〇	年				〇	月	〇	日
外 務 省	第	一	〇	號	北 海 道 連 絡 局 長	大 臣	〇				
								件 名	件 名		
對 小 見 込 資 金 勘 定 より 給 與 及 公 事 務	本 件 経 費 は C I E 側 より 大 藏 省 に	貴 電 第 一 〇 号 に 關 し	勤 務 邦 人 特 別 顧 問 採 用 の 件	地 方 民 事 部 民 間 教 育 課	〇	〇	〇				

文書課長

發電係

7 16

記帳済

0328

電信寫

A.1.0.2-3

昭 和 二 五 一 七 六 四 平 札 本 省 幌 九 月 七 日 一 一 一 一 一 着 連 地	吉 田 大 臣	第 一 一 〇 号 （ 地 方 民 事 部 民 間 教 育 課 勤 務 邦 人 特 別 顧 問 採 用 に 關 す る 件 ）	八 月 二 十 八 日 付 北 連 調 總 第 三 一 一 号 に 關 し	此 の 程 民 事 部 より 至 急 回 答 を 求 め ら れ た の で 早 速 御 回 報 あ り た い	配 布 先 連 地、 連 絡 局 長、 次 長、 連 整、 文、 電	林 事 務 局 長
---	------------------	--	---	---	--	-----------------------

外務省

0327

RA'-0007

0188

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

費と含め一名あり一月二万五千圓三十  
 五名ありの予算を計上するより指し  
 加ありこれか支出方法は一年毎  
 經費を縣庁側は前渡り縣庁側は民事  
 部の指しより支出するとは大体の諒  
 解を得てゐるか未だ最終的決定はなつ  
 てゐる趣である。

佐野 啓

電 信 案

外 務 省

0329

RA'-0007

0189

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan